

# 第29号

令和5年3月発行  
関市子ども会育成協議会  
【事務局】  
関市若草通2丁目1番地  
関市生涯学習課内  
TEL0575-23-7777

# わかさ

題字：上田 清四

## 縄文土器 づくり体験

塚原遺跡公園

### ▼土器づくり 10/15(土)



すぐ出来る子もいれば、  
時間いっぱい考えながら  
作る子も。



### ▼土器焼き 12/10(土)



焼きは、焚火の周りに  
土器を並べて、じっくり  
焼き上げる縄文時代の  
方法で行いました。



## 研修会

### ▼関市インリーダー研修会 6/11(土) 中池自然の家



3年ぶりに中池公園で  
開催され、オリエンテ  
リングやレクリエーシ  
ョンを実施しました。

### ▼関ジュニアリーダーズクラブ秋の研修会 11/6(日) 安桜小学校体育館



市内の小学校4~6年生  
と白鳥JLCのメンバーも  
加わって楽しい時間を  
過ごしました。



## 上之保地区 上之保子ども会

今年度の子ども会も、昨年度に引き続きコロナの影響で活動が制限されて、子どもたちにはさみしい思いをさせてしまいました。

その中で上之保地区の子ども会活動として、各単位子ども会で、夏休みのラジオ体操を行いました。これは子どもたちが夏休みでも規則正しい一日を送り、健康的に過ごせるよう、また、続けることでやり抜く強い意志を育めるようにとの目的で開催しています。

各単位子ども会で、感染防止の対策を取りながら、各家庭で行ったり、子ども会会長の庭に集まってなどのラジオ体操でしたが、眠い目をこすりながら、みんな頑張ってくれました。その中には、お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に保育園児の子も参加してくれました。子ども会としては、ほぼ毎日出席してくれた子どもたちに、その頑張りをほめたたえる副賞として図書カードを送りました。

まだコロナ禍の終息が見通せない状況ですが、その中で育成会として、子どもたちが生き生きと活動できるようサポートしていきたいと思っています。 【波多野 正人】

## コロナ禍の活動

今年度もコロナの影響で活動ができませんでした。上之保地区は子どもの数がとても少なく、小学校の児童数は全学年で28名です。小学校の中では全員が顔見知りですが、中学生と関われることはそうはありません。

子ども会の行事は、そんな数少ない機会なのですが、ここ数年はそれでもありませんでした。仲がいい子どもたちが集まるからこそ、感染を心配して二の足を踏み親御さんもおられたらと思う。

それでも今年度は産業祭が再開され、小学校としての参加もありました。コロナ感染者数は減ってははいませんが、その中でもやり方などを工夫して対策をしながらでも出来ることはないかと皆で考えるやり方になってきたように感じられました。

これから少しずつでも子どもたちの笑顔が増えていけばと願っております。 【山下 曜良】

## 関市子ども会育成協議会本部より

### 令和4年度 関市子ども会に寄せて

会長 足立 雅彦

関市子ども会育成協議会の会員・役員の皆様、今年度も子ども会活動にご協力を頂き、誠にありがとうございました。3年目となるコロナ禍の最中ではございますが、子どもたちが安全に活動に参加できるように単位子ども会の運営にお知恵を頂きました。お疲れ様でございます。

関市子ども会としては、コロナ禍前と一部内容を変更させたところはありますが、主な年間行事を終了させたところでございます。

5月の関ジュニアリーダーズクラブ春の研修会、6月の関市インリーダー研修会は、本来は1泊2日の日程で中池自然の家でオリエンティングやレクリエーション、野外炊飯(カレーライス作り)を通して交流を深める予定でしたが、日帰りで中池周辺でのオリエンティングと中池体育館でのレクリエーションに変更して実施いたしました。

また、11月には安桜小学校体育館にて、関ジュニアリーダーズクラブ秋の研修会を実施した際には、小学生だけではなく、郡上市白鳥ジュニアリーダーも参加し、他市町村のメンバーとの交流も図ることができました。

これらの研修会への参加者が、リーダーシップを取りながら団体行動に参加できる第一歩になればと思います。育成協議会としても今後も研修会開催に力を入れていきたいと考えております。

また、10月と12月には、塚原遺跡公園(千疋)にて「縄文土器づくり体験」を実施しました。

市外の行事としては、6月にぎふメディアコスモスにて「岐阜県子ども会育成大会」が3年ぶりに開催され、関市からも参加者を頂きました。ありがとうございました。

10月の「第55回全国子ども会育成中央会議・研究大会」(長野市)も、岐阜県から多数の方が参加する中で開催されましたが、昨年の堀副会長・永田副会長に続き、兼松顧問(元会長)が全国表彰の栄誉を受けられました。おめでとうございます。

最後になりますが、来年度も引き続き子ども会活動に皆様のご協力をお願い申し上げまして、結びの言葉にさせていただきます。

### コロナ禍の子どもたち

本部役員 兼松 邦夫

「おはよう、今日も元気で行けよ。」と登校中の子どもたちに声をかける。「おはようございます。行ってきます。」と子どもらしい元気な声が返ってくる。

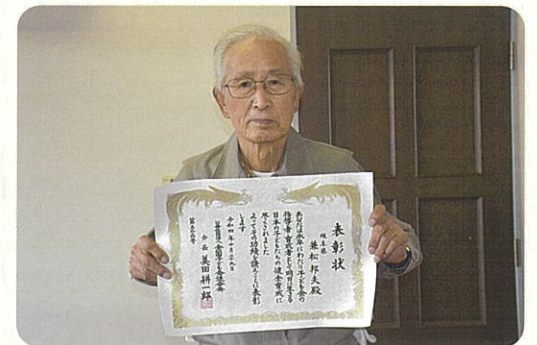
子どもたちの表情を隠してしまうマスクは、コロナ感染症から身を守る手段ですが、コロナ禍から3年、いつまで続くのでしょうか。人と人が寄り添い、助け合い、協力し合ってきた関係が、だんだんとごちなく離れ、その間隔も広がっているのです。

学校の先生方も心をくだいて子どもたちに接していただけることでしょう。そんな中、子ども会活動は、その活動を通じ子どもたちの世界感を創り、人と人をつなぐ大切なことだと深く考えさせられます。

「おかえり、今日も寒かったな。」と言うと、「ただいま。」「気をつけて帰れよ。」そんな声かけの中で感じる優しさ、いとおしさを感じさせる子ども会活動ができたらと思います。

### ◆◆ 全国子ども会連合会表彰報告 ◆◆

今年度、兼松顧問が、(公社)全国子ども会連合会から、永年にわたり活動された功績について表彰されました。おめでとうございます。



### 安桜地区 環境に感謝する子ども

安桜小学校では、夏に清掃ボランティアとして校庭に生えた雑草をみんなで刈り取りました。

暑い天気の中、子どもたちと親たちが一生懸命自分で選んだ箇所に生えた草を刈り取りましたが、その際キツイ労働作業にもめげずに汗を流しながら黙々と働き続ける子どもたちの姿に感心しました。

日本の学校は掃除活動が教育課程の一環として設けられており、自分たちの使う校舎も毎日掃除するという海外では有名とされており、よくSNS上でも持ち出されているのを私も見たことが何度もあります。

自分たちが毎日使うものだからこそ、感謝の心を持って綺麗にする。この心を育みながら成長していき、家庭でも学校でもそして社会に出てからも、周りの環境を大切にできる人間になることができるように願うばかりです。そして私たち大人も、その見本となっていくように心がけていきたいです。

【西村 恭兵】

### 瀬尻地区 振り返り

今年度も昨年度に引き続きコロナウイルスの影響により、子ども会の行事が中止となりました。そんな中、10月に関市子ども会育成協議会の活動で縄文土器づくり体験のお手伝いをさせて頂きました。

コロナで子ども会の活動が少しずつ変化しましたが、子どもたちの作る時のステキな笑顔は、今後の活動の希望になると思いました。

ここ数年制限があり良い思い出ばかりではないかもしれませんが、「こんな時もあったね。」と大きくなったら思い出として語ってくれたらいいなと思いました。

1日も早く落ち着き、安心して子ども会活動ができることを願っています。

【市川 琴美】



### 富岡地区 インリーダー研修会に参加して

6月に中池自然の家にて3年ぶりに「インリーダー研修会」が行われました。

研修会では、ジュニアリーダーが中心となり、参加した小学生とのオリエンテーリングやレクリエーションが行われました。

オリエンテーリングでは、グループに分かれ皆が協力し合って、楽しく時には真剣な表情で課題に取り組む姿を見ることができました。レクリエーションでは、私も大人チームとして子どもたちと一緒にゲームに参加しました。

マスク越しではありますが、皆が笑い合っ全力で“遊ぶ”ことができとても楽しかったです。子どもたちの楽しそうに生き生きとしている姿に触れ合えたことや、他のスタッフの皆さんと交流ができたことを嬉しく思います。

そして今もマスク着用が日常の中で、縮小や分散での活動であったりですが、早くこの社会状況が終息し、皆で学び合い交流できる従来の場に戻ることを願います。

【河村 真由美】

### 旭ヶ丘地区 旭ヶ丘地区子ども会

旭ヶ丘地区では、今年度もコロナ感染を理由に活動を自粛していた子ども会が多かったように感じます。しかし、ウイズコロナが進むなか、感染対策を行いながら行事やイベントが開催されるようになってきました。縄文土器づくり体験でも、子どもたちが生き生きと活動する姿が印象的でした。子どもにとって思い出に残る活動は大切であると実感しています。

私の町内でもこの2年間行えなかったイベントを開催しようと検討していますが、顔を合わせて活動する機会がなかった分、ノウハウの引継ぎなど不安なところもあります。まずは、新しく子ども会に入られた保護者の方と顔見知りになる機会を作るなど、保護者同士のコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。コロナ前までと同じ活動を行うことはまだ難しいかもしれませんが、子どもたちの笑顔や思い出のために、子ども会単位でも工夫をしながら活動を行っていききたいと思います。

【長瀬 友洋】

### 倉知地区 巾子ども会

今年度よりコロナ前と同じ行事をできる限り開催する方針で進捗しています。

5月に1年生を迎える会、7月に七夕飾り、夏休みにラジオ体操、12月にクリスマス会を開催し、3月には6年生を送る会を予定しています。毎回約50人の参加があり、たくさんの笑顔と笑い声が聞こえ、嬉しく感じます。

また、自治会やシニア会などとも共同で行事を進捗しています。10月に山の講(神事のみ)を、11月に喜楽展(作品展)、12月にシニアクリスマス会を開催できました。ただ残念なことにコロナの影響で、4月の子ども神輿、8月のおじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう、9月の敬老会は中止となりました。

来年度はさらに多くの行事が開催でき、子どもたちと地域の方との交流が、コロナ前のように戻ることを願っています。

【福田 幸子】

### 金竜地区 「輝く人生のきっかけ」

もう非日常が日常になってしまいましたね。価値観が大きく揺さぶられ、ひっくり返された面が裏なのか表なのか。物事すべては表裏一体なのです。

マスクで顔が見えなくて、コミュニケーション能力の低下も懸念されていますが、子どもたちは、それを自然に受け入れて、新しいコミュニケーション能力を身に付けていると思います。大人の方が前例のないことに戸惑い、心配し過ぎているのではないのでしょうか。

変化に対応できることが、生き抜く上で、とても大切なことです。うまく行かないことを誰かのせいにして、文句を言っても何も変わりません。どうにもならないことは逆らわずに受け入れ、一人一人が考え、一番心地良いと思うことをする。

当たり前だと思っていたことが、そうではなかったと分かってくれた、素晴らしいきっかけだったと思えば、全ての人がキラキラと輝く人生になるのだと思っています。

【山田 茂宏】

## 各地区子ども会役員より

### 田原地区

### あいさつ運動に参加して

今年度も昨年度に引き続きコロナウイルスの影響により、行事や学校生活が制限されて行われてきました。その中行われたあいさつ運動ですが、登校時校門に育成委員のみなさんと立ち、子どもたちにあいさつをします。元気にあいさつしてくれる子、目が合うとあいさつを返してくれる子、下を向いたままの子、さまざまです。

活動後のアンケートでも、あいさつを返してくれない子、元気がない子がどうしたら元気にあいさつをしてくれるようになるのだろうか、という意見も多くありました。

毎朝、子どもたちみんなが元気いっぱいあいさつができ1日を始められることができるよう、次のあいさつ運動では人数を増やして行うなど工夫を行おうと思います。

コロナ禍でありマスクをしていてなかなか表情がわかりにくい状況であっても、元気いっぱいあいさつができ、楽しい学校生活が送れるよう今後も見守ってきたいと思います。

【野口 昌】

### 武芸川地区

### 一色子ども会

昨年度と同様、コロナウイルス感染拡大のため、春の子ども神輿や夏のお楽しみ会が中止になりました。今年度は感染対策をして、できるだけ例年通り行事を進めていきたいと考えていた中での中止は非常に残念でした。

少しでも子どもたちが楽しめる時間をつくりたいと考え、12月にはクリスマス会を開催することができました。子どもたちの楽しそうな姿を見ることができ、とても良かったです。

年々子ども的人数も減っており、最近は近所の子どもたちが集まって外で遊ぶ光景を見かけることも、私たちが子どもの頃より少なくなったように思います。

子ども会の行事によって、さまざまな学年の子どもたちが交流したり、地域の方とふれ合うことはとても大切なことだと感じます。

この先も、地域全体で子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

【藤井 梨加】



### 下有知地区

### 笑顔のために

下有知小学校では、「みんなの夢パワーで元氣いっぱい!!～ぎんちゃんと新しい友達を150周年記念祭に届けよう!～」というテーマで、子どもたちに楽しんでもらおうと企画された行事がありました。

校内内の各教室を回り、親子でクイズと7つのミッションをクリアしていくウォークラリーを行いました。感染対策を考えての挑戦でしたが、子どもたちの楽しんでいる姿がたくさんありました。

来年は、150周年を迎える下有知小学校。みんながデザインしたぎんちゃんの新しい友だちが、みんなの投票で誕生します。



コロナ禍の中でも、形を変えて少しずつ行事ができ、子どもたちが楽しんでもらえることが増えてきました。これからも、子どもたちが元気で笑顔あふれる活動が増えることを願っています。

【伊藤 貴子】

### 南ヶ丘地区

### インリーダー研修会に参加して

6月にインリーダー研修会が行われました。中高生によるジュニアリーダーたちが指揮をとり、関市の小学生たちとオリエンテーリングやレクリエーションを行いました。

ジュニアリーダーたちがいろいろゲームを考え、盛り上げようとする姿に、とても感心しました。チームに分かれ競い合ったり、チーム一丸となって協力しあったり、私たちもその中に参加させて頂いて、子どもたちと触れ合ったり、とても楽しいインリーダー研修会でした。

また、ジュニアリーダーたちや小学校が違う児童と仲良くなれる場でもあると思いました。出会いは大切ですし、たくさんの友だちができる素晴らしい行事だと実感しました。コロナ禍ということもあり、少ない参加人数でしたが、もっと多くの参加人数でしたら、もっともっと楽しい行事になるのではないかと思います。

今回は、是非みなさん、参加してみてください。【長屋 舞子】

